

失望してはならない

2020年5月17日

ルカ 18・1～8

序：前……神の国はいつ来るのか？ 予告があっても、神に背を向け世俗的な生活
主の日は人々が「平和だ、安全だ」と言っているときに、突然訪れる

この箇所……再臨への備えは祈り

後……主の日に義と認められる人＝真の祈りの人

I. このたとえ話の目的（弟子たち対象）

いつも祈るべき

失望してはならない ことを教えるため

ユダヤ教では「1日3回以上祈るな」

人間の向上や前進を阻む

生きる意味、自分の価値を喪失 失望、落胆による

特に困難、不安、恐れ、先の見えない不透明・不確かさ故に行き詰まる無力感
思考停止状態、目の前のことだけしか見ない狭い視野、焦り、

コロナウイルス感染、世界的なパンデミックの中

世の終わりの初めにさしかかった状況下

の我々

祈る志と力を削がれる いつもを忘れる

自分や他の人々や国や指導者たちに失望するならいざ知らず

神に失望したら、信仰者の中枢（祈りの生活）が萎え、活力を失う⇒ 敗北

勝利の秘訣：神を信頼して、状況にかかわらず、祈る

II. 喩え話

裁判官……神を畏れない (⇔ 神を愛さない) 律法に従わない

人を人とも思わない (⇔ 隣人を愛さない) 敬わない

この世の勝ち組

やもめ……自分の権利・尊厳が他者（訴訟人）に侵害されている

弱者、貧者

この世の負け組

神は孤児、やもめ、在留異国人をあわれむ

愛と正義をもって彼らを取り扱うように命じる

傲慢不遜な裁判官のほかにだれもこの町には裁判官がいなかった？

やもめは、泣き寝入りをしなかった

勝つことを切望した

状況の厳しさ（自分の弱い立場、理不尽な訴え、不親切な裁き人）は

承知のうえ

諦めなかった（一度、二度でなく、粘り強く） cf. エジソン

執りあってくれない、冷遇に屈しない

裁判官は、自分が神を畏れず、人を顧みない者であると自覚
やもめを正当に扱おうと決めた
理由：うるさくて仕方がない
このままでは、自分が疲れ果てる
きわめて、自己本位の理由、しかし、この世では普通
神への恐れや律法の遵守故でも、やもめを憐れんだ故でもない
結果：やもめの粘り勝ち

Ⅲ. この喩え話のメッセージと適用

神は（この裁判官のようではない）真実で正しい方・真のさばき主
ご自分を絶えず呼び求める者たちの祈りを聞いて答えてくださる
いつまでも放置せずに、速やかにさばきをしてくださる
神の応えは遅すぎず、早すぎず、神の時にされる

神の警告：人の子の現れる日（再臨）まで、忍耐と希望をもって、信じて祈る者
たちが果たしているだろうか？
失望して、神への信仰を失う者が続出するのではないか？

適用：この世と私たちの生活様式は今まで以上に今後大きく変わる
家庭、仕事の仕方、子どもの教育、人間関係、国際政治・経済・安全
保障、技術・情報・・・
教会や個々の信仰者のあり方も変わっていく部分と変わらない（変えては
いけない）部分がある
信仰者は、相変わらずこの世から取り出され、再びこの世に遣わされる
旅人、寄留者、この世は安住の地ではない
この世という戦場で日々戦う者でもある
神の武具 エペソ 6・20
勝利を得るために闘っている
死、悪魔、罪、世、自分の肉に対する勝利

ヨハネⅠ 5・4～5

「神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。」

コリントⅠ 15・54～56 キリストによって死と罪への勝利を獲得

ローマ 8・37 私たちを愛してくださった方により、圧倒的な勝利者

勝利の秘訣：いつも祈る、失望しない（四面楚歌でも上は開いている）